

現行計画から引き続き重点的に取り組むことが想定される施策例（案）

グローバル化改革の推進

英語イノベーション事業

<これまでの取組>

- ・ネイティブ・スピーカーを活用した生きた英語を学ぶ授業の実施
小学校1学級あたり年間平均 15 時間程度
中学校1学級あたり年間平均 20 時間程度
- ・小学校1年生からフォニックスという学習メソッドによる DVD 等を活用した音声指導
英語教育重点校 27 校(小学校 19 校、中学校8校)

⇒ 英語教育重点校の取組の丁寧な効果検証

<今後の取組>

- 小学校低学年からの英語教育の推進
- 教員研修の実施
- ネイティブ・スピーカーの効果的な配置の仕方等についての検討

学校教育 ICT 活用事業

<これまでの取組>

- ・モデル校(小学校4校、中学校2校、小中一貫校)で ICT を活用した実証研究の実施
- ・27 年度、モデル校以外の全小・中学校各校 40 台のタブレット端末等の整備
- ・2年間の実証研究の最終報告、大阪市スタンダードモデルの作成
- ・新規モデル校(小学校 14 校、中学校6校)で ICT を活用した実証研究の実施

⇒ モデル校における取組の効果検証

<今後の取組>

- ICT 学習環境を活用した教育の全市展開
タブレットの追加整備の検討、校内 LAN 環境の整備
- 教科の特性を踏まえ、学力の向上に資する活用の充実
- ICT の効果的な活用についての教員研修